

10 月 12 日(日)「第 48 回ナナカマド賞」(BG3)の結果 ～2 歳世代最初の重賞競走はホクセイワキヤマ号がゴール前の大接戦を制す～

ばんえい十勝で 2025 年 10 月 12 日（日）に行われた「第 48 回ナナカマド賞」（2 歳オープン・BG3）は、ホクセイワキヤマ号がオレノコクオウ号とのゴール前の大接戦を制し 2 歳世代最初の重賞競走を勝利しました。

馬場水分 2.3%、550 kg～570 kg と全馬初めて曳く重量で行われた本レース。スタートから各馬一斉に飛び出し、軽快に第一障害を越えていきます。道中はわずかにカワノラクシュミー号が前に出ますが、後続も遅れず追走。ホクセータケコ号とピュアリーヒナリ号が少し間を置かれますが、前はほぼ一団で歩を進めます。中間点を過ぎたあたりから各馬息を入れ始め、カワノラクシュミー号、スターノチカラ号の 2 頭が抜け出し、先頭で第二障害下に到達します。

一息入れたカワノラクシュミー号が最初に仕掛けますが、登坂に苦戦。それを横目にスターノチカラ号とキョウエイジェット号がすんなりとほぼ同時に障害をクリア。少し間を置いてホクセイワキヤマ号、ジェイノホマレ号、オレノコクオウ号と続きます。

キョウエイジェット号が障害を下りた勢いで先頭に立ちますが、後続の脚色も良く、ホクセイワキヤマ号、ジェイノホマレ号、オレノコクオウ号が一気に差を詰めると残り 10m で 4 頭横一線に。さらにゴール前、ホクセイワキヤマ号とオレノコクオウ号が抜け出すと激しい叩き合いで 2 頭ほとんど同時にゴール。写真判定の末、ホクセイワキヤマ号が大接戦を制し嬉しい重賞初勝利を飾りました。

2 着にはオレノコクオウ号が入り、最後までしっかりと歩ききったスターノチカラ号がゴール前でジェイノホマレ号を差し返し 3 着に入りました。

ホクセイワキヤマ号を管理する坂本東一調教師はメモロボブサップ号で制した 2018 年以来 2 度目の「ナナカマド賞」制覇、騎乗した渡来心路騎手は初制覇となりました。

記

<ホクセイワキヤマ号のプロフィール> ※2025年10月12日現在

生年月日・毛色：2023年3月22日（牡2歳・鹿毛）

血統：父 マルニセンブー 母 ヒカルガール（母父） ホッカイヒカル

生産者：竹澤 一彦氏

馬主：（有）竹内産業

厩舎：坂本 東一厩舎

通算成績：6戦4勝（うち重賞1勝）



【坂本東一調教師のコメント】

勝ったら嬉しいし負けたら悔しい思いをするのが人生経験だと思いますが、今日は最高でした。

生まれてすぐの頃この馬を見ましたが、そのとき目が鋭くて強くなるという印象を感じました。でも思うようにいかないのが馬の人生でもあると思います。

厩舎に入った頃はレースに向き合う感じではありませんでしたが、体格が良かったから調教もこなせていけると感じました。

馬インフルエンザの頃は馬主さんにレースに出さずに仕上げてほしいとお願いされていました。そのおかげもあってか、徐々に仕上がってきたと思っています。

レースに真正面から向き合うタイプの馬ではないですが、騎手がタイミングを合わせているのが凄いのと思



います。ゴール前の接戦は勝ったと思いましたが、一瞬迷いました。

この馬は素晴らしい瞬発力があり、メモロボブサップの跡継ぎになるのではないかと期待しています。これからもばんえい競馬を盛り上げていきたいという気持ちでいっぱいです。皆様応援よろしく願いたします。

【渡来心路騎手のコメント】

大接戦を勝利できてすごくほっとしています。

雨でペースがすごく速くなるなと思っていましたが、その中でもしっかり2回刻んで息を入れて行けたので良かったです。前に行く馬もいましたが、自分のペースでしっかりと息を入れながら行きました。

ゴール前はもう必死で追うだけでした。

結果もゴールした瞬間はわからず、次レースのパドック周回中に電光掲示板を見て勝ったんだとわかりました。

この馬はすごく瞬発力のある馬で、息が入れば入るほど障害を下りてからもしっかり歩いてくれるし、また、まっすぐで真面目な馬です。

すごく勝ちたかったレースだったので勝利できて良かったです。

これから寒くなってきますが、まだまだ熱いレースをお見せしたいと思っていますので応援よろしく願いたします。

以 上

< 報道関係者 各位 >

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、ぜひ取材についてご検討の程よろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら以下までご連絡ください。

ばんえい十勝 広報担当 藤田・中村・高尾

〔電話〕 帯広競馬場 0155-34-0825(代)

※火・水曜除く9:30～18:15 ナイター開催日(土・日・月) 12:30～21:00

〔ばんえい十勝公式ホームページ〕 <https://www.banei-keiba.or.jp/>